

平成19年度 事務事業評価表	担当	産業環境部 観光課	内線等	1212
事務事業名	各種観光団体負担補助事業		事業コード	1. 一般事務事業(ソフト事業)
根拠法令等			Eなし	

総合計画での位置付け

基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	観光
------	---------------------	-----	----

事務事業の内容

対象(受益者)	観光団体及び協議会に参加し
手 段	広域的な観光事業に負担金を支払い
想定する成果	観光振興をはかる

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
参画観光団体名	日本観光協会、愛知県観光協会	日本観光協会、愛知県観光協会	日本観光協会、愛知県観光協会
観光封筒	10,000部 210,000円	10,000部 210,000円	20,000部 441,000円
参画協議会名	三河観光ネットワーク協議会、観光まちづくり推進協議会、東三河広域観光協議会、愛知・名古屋修学旅行誘致促進協議会、東海地区外国人誘致促進協議会	三河観光ネットワーク協議会、観光まちづくり推進協議会、東三河広域観光協議会、愛知・名古屋修学旅行誘致促進協議会、東海地区外国人誘致促進協議会	三河観光ネットワーク協議会、観光まちづくり推進協議会、東三河広域観光協議会、愛知・名古屋修学旅行誘致促進協議会、東海地区外国人誘致促進協議会
総負担金額	7団体 2,581千円	7団体 2,393千円	7団体 2,393千円
総事業費	7団体 318,995千円	7団体 289,121千円	7団体 273,953千円

成果指標

成果指標名	事業負担比率	宿泊者数
成果指標の説明	負担金額 / 総事業費 × 100	宿泊者数

事業の進捗状況 (一般 会計) (単位：千円)

	平成18年度決算(実績)				平成19年度決算(実績)				平成20年度予算(計画)				
成果指標	0.81%				0.83%				0.87%				
成果指標	840,174人				828,406人				845,000人				
事業費	事業費	2,581			2,393			2,393					
	人件費	3,114			3,124			3,138					
	(人数)	正規	0.4	非常勤	0.0	正規	0.4	非常勤	0.0	正規	0.4	非常勤	0.0
	合計	5,695			5,517			5,531					
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	5,695			5,517			5,531					

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	3	2	2	2	事業目的を終えた協議会は解散し、新たな目的のもとに協議会が設置されるなど統廃合が行われた。
経済効率性	2	2	2	2	各協議会の負担金は、各市町村等の宿泊施設数や観光客入込数を基に算定しており効率よく運営されている。
事務効率性	2	2	2	2	事務は、各協議会ごとの事務局が行い、効率よく運営されている。
必要性	2	2	2	2	外国人誘致や修学旅行誘致など今後も協議会として積極的に取り組む必要があり、その基盤としての協議会はますます重要になってきた。
小計	9	8	8	8	
施策への貢献度	3	0	2	0	旅行形態などの変化に柔軟に対応していく各協議会は観光施策上その役割は大きい。
合計	12	8	10	8	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	参画する市町村の負担金で運営されている協議会や観光団体について市町村の合併や逼迫した財政を考え、一部の協議会について統廃合を行った。
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
時代のニーズにあった協議会の充実をはかり一部協議会については統廃合を検討する。
上記改善点の実施状況
一部協議会については統廃合を行った。

今後さらに改善すべき点

それぞれの事業目的にあった協議会活動を推進している協議会の活動に積極的にかかわっていく。

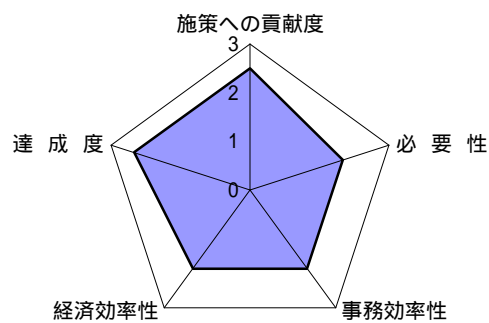
平成21年度予算に反映する項目

今後の方向性

現状維持

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的事業は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



課内評価と部長評価の平均点